



中央を流れる川の曲線が風景の奥行きを巧みに表現しています。水面に映る青空や木の姿などもていねいに描かれ芝生の色や木影の色など緑色の効果も見事な作品です。

『光と影の公園』

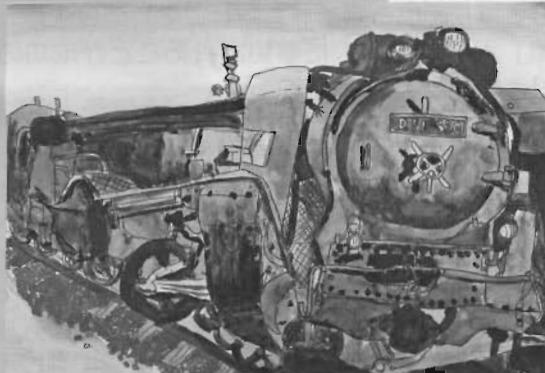
旭川市 東明中学校3年生 御前 忍さん



巧みに描かれた顔の表情によっておじいさんの楽しさと地藏さんのうれしさが伝わってきます。大きなおじいさんと雪に埋もれた地藏さんの対比によって絵に奥行きが生まれました。

『かさじぞう』

北広島市 高台小学校2年生 よしかわゆりなさん



遠近感を考えながら画面いっぱいに使って描きあげています。SLのもつ力強さや迫力が見事に表現されています。

『SL』

安平町 富岡小学校5年生 吉田 楓さん



大きな団扇を振る姿が見事に表現されています。画面構成や顔の表情が力強さや祭りの喜びを表しています。彫刻刀の使い分けもされていて表現効果を高めています。

『まつりだーわっしょいー！』
留萌市 幌糠小学校4年生 馬淵 千尋さん

第35回教育美術展奨励賞作品より

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索

▶北海道造形連盟◀

発表会で高い跳び箱に挑戦し、何回も練習して成功した様子がよく描かれています。お友達や保護者の方たちの拍手が聞こえてきそうです。

『発表会でとびばこをとんだよ』

札幌市 平和幼稚園 竹村 修一くん



<目 次>

- ・第35回教育美術展奨励賞作品 1 (表紙)
- ・北海道造形教育連盟会長挨拶 2
- ・今年度の研究について 3
- ・第59回全道造形教育研究大会上川・旭川大会のご案内 ... 4~5
- ・ネットワーク部会の取り組みから 6
- ・地区サークル情報(十勝造形サークル・後志教育研究会函工美術部) ... 7
- ・第36回教育美術展応募要項について 8



北海道
造形教育
連盟報

No.128 2009.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 菅原清貴 (札幌市立幌西小学校)

事務局 札幌市立盤溪小学校 稲實 順
〒064-0945

札幌市中央区盤溪226

TEL(011)642-3223・FAX(011)642-3287



造形教育の大河を北の大地から

北海道造形教育連盟

会長 菅原 清貴

(札幌市立幌西小学校長)

■59年の歴史を刻む

私達は、子ども一人ひとりが自らの表現に自信をもち、安心して活動を楽しむ造形教育を求めて研究を積み上げてきました。今年度で59年の歴史を刻む当連盟は、子ども達と共に歩んだ創造の道でもあります。4月25日に地区委員総会を開催し、前年度の成果を確認し、今年度の方針を決定しました。

また、本会の規約を時代に合ったものとするため土井部長を中心に検討委員会を設置し討議を重ね改訂案を可決し組織的な強化を図ることができました。

■全道の仲間と共に歩む造形教育連盟

昨年度は、18の全道連盟サークルをつなぐ活動を充実するため、数地区の研修会に講師を派遣し、造形教育の指導充実のためのお手伝いをすることができました。さらに、広報部を中心に全サークルの年間活動の一覧をまとめることができたことは、画期的な成果でした。あらためて、各地で奮闘している仲間の尽力に感動を覚えました。また、全道に根をはる活動として実施してきた全道ネットワーク部の活動や1万7千点の出品数を誇る教育美術展も札幌時計台向かいの道新ギャラリーへと展示会場を移し、さらなる充実を遂げています。

そして、特筆すべきは研究部の主題設定の取り組みでした。本連盟のメーリングリストを活用し、全道の会員から数多くのキーワードを集め、湯浅部長を中心とした研究部が全道の皆さんと双方向のやり取りをする中から「わたし」を創る～自立と共生の造形教育をめざして」という研究主題を生み出しました。北海道の広い大地に学ぶ多くの子ども達を、日夜指導支援する造形教育の教師達によって創られたこのテーマを大切に、旭川、函館、そして札幌の全国大会へとつなげて行きましょう。

■いしかり・北広島から上川・旭川へ

第58回造形教育全道大会は、石狩造形教育連盟が中心となり、子どもを主役に置いた見事な大会となりました。「造形教育の指導がよくわからない」との声に「基礎が学べる研究会」という発信をし「美術教育支援」という側面をもたせ、多くの先生が「学びの場」として、大会に参加されたことが成功の鍵となりました。

さて、今年は舞台を上川・旭川に移します。2004年の旭川での第54回大会から5年の年月が経ちました。戦後旭川の地では、これまで造形研究大会を7回開催していただきました。今回は上川と旭川のサークルが共同で取り組む大会となることで、一層の充実した研究の深まりと広がりが期待されます。本大会のテーマは“身体で感じ・心はずませ・創造する喜びを”であり、研究主題は“「いま・ここで」「つなげる」造形教育を求めて”と設定されています。子ども達の五感を大切に、身体で感じる生き生きした対象との出会いや他者とのかかわりを通し、一人ひとりの実感を大切に、「子ども重視」の教育活動です。これは全ての子が新たな価値や表現する意味を「自ら見出す事」を大切に、「喜び」をもった活動となるための実践と検証を目指すものです。さらに、道立旭川美術館、旭川市彫刻美術館、教育大学旭川校との連携をはかる場も計画していただき、北海道の真ん中から発信する造形教育が本道教育に一層の力強いインパクトを与えるものと期待されます。北広島から発信された子ども達を真ん中に据えた造形教育の在り方が、上川・旭川でさらに発展することを期待しています。

旭川の流れを全道に広げ、さらに次年度の函館で勢いを増し、いよいよ2011年は全国に私たち北の造形教育を発信する、とうとうたる大河を創ろうではありませんか。

北海道造形教育連盟役員（部長会構成スタッフ）

- 会長 菅原 清貴 (札幌市立幌西小学校長)
- 副会長 富田 賢司 (札幌市立札幌北中学校長)
- 副会長 墓田 充泰 (千歳市立富丘中学校長)
- 副会長 加藤 隆 (旭川市立台場小学校長)
- 副会長 中村 吉秀 (函館市立亀尾小中学校長)
- 副会長 森 富輝 (浜中町立榊町小学校長)
- 事務局長 稲實 順 (札幌市立盤溪小学校長)
- 事務局次長(研究) 中居 正光 (札幌市立菊水小学校)
- 事務局次長(研究) 川島 正夫 (札幌市立幌南小学校)
- 事務局次長(事業) 東 尚典 (札幌市立平岡中央小学校)
- 事務局次長(事業) 福島由紀子 (札幌市立幌北小学校)
- 事務局次長(事業) 金子 睦 (札幌市立中央中学校)

- 会計 池田 悦子 (札幌市立なづみ幼稚園長)
- 監査 柿崎 雄二 (函館市立昭和小学校長)
- 監査 森 洋 (旭川市立啓北中学校)
- 全道事業部協議長 田口 和男 (札幌市立厚別西小学校長)
- 全道研究部協議長 土井 善範 (札幌市立鴻城小学校長)
- 61周年総務協議長 今 裕子 (札幌市立福住小学校長)
- 庶務部長 藤森 久美 (札幌市立前田北小学校)
- 広報部長 松本 和彦 (札幌市立発寒小学校)
- 事業活動部長 八田 博之 (札幌市立中央小学校)
- 事業研修部長 向井 正樹 (札幌市立あいの里東中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立伏見小学校)
- 総ネットワーク長 小林 知広 (札幌市立前田北小学校)



『“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして』

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾

(札幌市立伏見小学校)

「つながり」から生まれた新研究主題

私には、授業を見たり実践発表を聞いたりする他にも全道大会に参加する楽しみがもう一つあります。それは、日々北海道の各地で造形教育に熱く向き合い研鑽を重ねている、お互いを刺激し合える尊敬すべき全道の仲間たちに会えることです。

『“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして』

この新しい北海道造形教育連盟の研究主題は、そんな仲間たちと共に創り上げた結晶です。ネットワーク部と連携し北海道造形教育連盟のメーリングリストを使って行われた議論は、A4で11枚、2万2千字以上にも及びました。59年に及ぶ北海道造形教育連盟の歴史の中で、このような形で研究主題が生み出されたことは、今回をもって嚆矢となるでしょう。それは、我々一人一人が、つながりを深めることを通してお互いの力を高め合っている、日々の結実と言えるでしょう。

一方、免許外で美術を指導しなくてはならない、または、後述の教科の特殊性からどう指導して良いかわからないと言う教師が多いのも北海道の現状です。さらにつなかりを広げ、北海道の造形教育が更なる充実に向かう合い言葉に、この研究主題をしていこうではありませんか。

「つながり」の中に見える上川・旭川の研究の価値

大会テーマ

～「身体で感じ・心はずませ・想像する」喜びを～
研究主題

～「いま・ここで」「つなげる」造形教育を求めて～
のもと進められてきた上川・旭川の研究は、前回のいしかり・北広島大会の取組が基になっていると、大会研究部長成田先生からお聞きしています。その石狩の研究も、前北海道造形教育連盟の研究主題をもとに構築されています。つまり、今や北海道の造形教育の研究は、実を伴いながらみごとにつなかりを見せていると言えます。北海道の研究を基に地区サークルの研究が形作られているのではなくその関係は双方向であり、各地区サークル同士の研究も同様にお互いを深化させながらつながりを深めているのです。

この「つながり」という言葉は、上川・旭川大会

を象徴するキーワードのように感じます。その一つとしては、旭川市教育研究会図工美術部会と上川造形教育研究会が手を携えて全道大会を開催する価値です。上川・旭川地区は、道内においていち早く対話による鑑賞を実践するなど先駆的な取組がなされている一方、釧路や石狩でも大会開催の趣旨となっていた美術教育支援という北海道における今日的な課題も抱えています。両地区サークルが力を合わせることによって、上川・旭川の造形教育がより活発な広がりを見せ始めていることはとても頼もしいかぎりです。

もう一つは、大学や美術館との連携です。上川・旭川の取組のすばらしいところは、個別に大学や美術館と連携していくのではなく、3者が同じテーブルにつき議論を重ねる場があるということです。旭川美術館、旭川彫刻美術館、そして教育大学旭川校の南部准教授、名達准教授というメンバーで行われている会議の価値は、上川・旭川地区のみならず道北の造形教育の発展に大きな力となっていくでしょう。この取組は、北海道だけにとどまらず全国的にみてもよい先行事例となっていく画期的なできごとです。

さらに特別支援教育との連携など、上川・旭川の研究の価値が数多くあげられます。また、上川・旭川大会のホームページ「造形Online」に接続することで、これまでの日々の実践や大会構築までの足跡を垣間見ることもできます。

大会に向けてご尽力されてきた皆さんに対し、心より尊敬と感謝の気持ちを表したいと思います。そして、上川・旭川のこれまでの取組の結晶を自分たちの日々の実践や次年度以降の全道大会、来るべく全国大会に向けてしっかりと「つなげて」いこうではありませんか。



第59回 全道造形教育研究大会上川・旭川大会

～ 2次案内 (最終案内) ～

会期 2009年7月28日(火)

会場 旭川市立永山中学校 旭川市永山7条19丁目1番1号

TEL 0166-48-2511

<連絡先>

大会事務局

森 洋

〒070-0993 旭川市春光2条7丁目 旭川市立啓北中学校

TEL 0166-52-4499 FAX 0166-52-4484

大会ホームページ <http://zoukeinet.web.fc2.com/>



KAMIKAWA
ASAHIKAWA

公開授業

I 9:00～9:50 II 9:15～10:05

番号	校種・学年	題材名	公開	授業者	分科会番号
1	幼稚園年中	えのぐあそび (フィンガーペインティング) ～えのぐの感触と色まぜを楽しもう～	II	平田 真子 (旭川大学附属幼稚園)	1
2	幼稚園年長	コンテパステルで手作り絵本の1ページを描こう	II	山岸みほう (旭川大学附属幼稚園)	1
3	小学校3年	みて・話して・大好き!あさひかわ <鑑賞>	I	泉 大吾 (教育大学附属旭川小)	2
4	小学校4年	木で作ろう ～わたしたちのロボット公園～ <工作>	II	布施 愛 (旭川市立北鎮小)	3
5	小学校5年	心広がる場面 <絵>	I	渡辺 悟史 (東川町立東川小)	3
6	小学校6年	光とかげ ～ファンタジーワールド～ <造形遊び>	II	宮崎真理子 (旭川市立春光小)	2
7	中学校1年	色を探して <デザイン>	II	宮崎 智 (旭川市立永山中)	4
8	中学校2年	音を彫る <彫刻>	I	中井 一夫 (鷹栖町立鷹栖中)	4
9	中学校2年	イメージを届けるデザイン <鑑賞>	I	中島 圭介 (旭川市立東光中)	5
10	中学校2年	光のひろがり ～ガラスを透して～ <工芸>	II	村田 靖彦 (旭川市立東明中)	4
11	中学校 特別支援学級	墨絵による動物などの描写 <絵>	II	宮越けんじ、北原 学 越前谷悦子、高橋 剛司 鈴木千鶴子 (旭川市立永山南中)	6

つながる広がる連携講座

11:00 ～ 12:00

A 「美術史利用のススメ」

子どもから大人まで訪れる美術館の現場から、ちょっとした美術史を利用した鑑賞教育の可能性を探ります。

北海道立旭川美術館・学芸課長 中村 聖司 氏

B 「彫刻は、むずかしい？」

佐藤忠良<カンカン帽>、木内 克<猫>など、日本彫刻界を代表する彫刻家の作品を見ながら、彫刻の魅力についてお話しします。

中原悌二郎記念

旭川市彫刻美術館・学芸員 鎌上 墨 氏

C 「授業に活かせるアートゲーム」～多様な鑑賞に向けて～

美術館での児童生徒鑑賞ワークショップなどに用いられているアートゲームを授業の中で活かす方法を検討します。授業の導入や鑑賞技能の評価など「気楽に、多様に、奥深く」利用する方法を一緒に見つけましょう。

北海道教育大学旭川校・准教授 南部 正人 氏

題材屋台 12:00 ~ 13:30

昼食と同じ時間帯に体育館で行われるミニ実技のコーナーです。教材屋さんのコーナーもあります。参加は無料です。是非ご参加を！

番号	屋台メニュー	内 容	担 当 者
1	木工ボンドでアート	インクを混ぜた木工ボンドを薄くのばします。乾くと光が透過する板に変身。小さなランプシェードや、窓際のモビールなどに応用できる素材です。	正部川恵智子 (旭川市立永山南小)
2	あなたもできる ギャラリートーク講座	対話型の鑑賞法で鑑賞の授業を気軽にやってみましょう。ワークシートも工夫して作ってみましょう。	中村 靖 (旭川市立六合中)
3	絵本作りトレーニング	黒い丸だけで絵本！？ 小学校から中学校までできる絵本づくりを体験します。	吉野 法行 (旭川市立旭川中)
4	ステンドグラスの ペンダント	制作後に残った端ガラス。よく見るといろんな形でおもしろい。それをちょっと細工してペンダントに。	山岸 和子 (旭川市立神居中)
5	コラグラフ (版画)	様々な素材を板にはり、多色刷りをすると、思いもよらぬ表現に!! 版木自体もアートです。	渡邊 万紀 (旭川市立愛宕中)
6	ミニ彫金七宝	銅板を好きな形に切り、槌目をつけます。 釉薬 (透明) をのせ、電気炉で焼き、アクセサリーなどに。	鳥本 匡洋 (東川町立東川中)
7	花畑工場	小学校低学年でもできる工作です。牛乳パックやお花紙、手に入りやすい材料を使った簡単な装飾を紹介します。	木村 文香 (鷹栖町立北野小)
8	グルーガンで遊ぼう	接着剤として使われるグルーガンを中心に作品をつくってもらう題材です。	桑村美由紀 (旭川市立緑が丘中)
9	ひろがる・つながる 綿棒造形	なんと綿棒が立体アートに! ? つなげて、ひろげて大きな作品も作っちゃおう。	渡辺 盛二 (神居東小) 菅原 良和 (永山東小)
10	シルバークレイ	銀粘土を利用して、簡単なアクセサリーをつくりましょう。 先着20名。	鈴木 敏春 (当麻町立当麻中)

分 科 会

13:45 ~ 16:15

番号	分科会名	提 言 者	助 言 者	司会者・運営係	記 録 係
1	幼稚園	平田 真子 山岸みほう (旭川大学附属幼稚園)	原 良三 (元旭川わかば幼稚園長)	佐藤 聖子 (旭川大学附属幼稚園) 佐藤 公文 (旭川わかば幼稚園)	城 亜由美 (旭川大学附属幼稚園)
2	小学校 表現 I	薄葉 郷子 (旭川市立末広小) 水島 賢久 (函館市立中の澤小)	渡辺 盛二 (旭川市立神居東小・教頭)	湫谷 幹子 (旭川市立高台小) 横川香代子 (旭川市立近文小)	西永 円 (旭川市立末広北小)
3	小学校 表現 II	西田 朋代 (旭川市立愛宕東小) 佐藤 仁彦 (上富良野町立江幌小)	村國 壽英 (八雲町立相沼小・校長)	山口 貴大 (当麻町立当麻小) 辻栄亜希恵 (旭川市立陵雲小)	妻沼 大也 (東神楽町立忠栄小)
4	中学校 表現	西岡 裕英 (教育大学附属旭川中) 井山 和博 (旭川市立永山南中)	引地 俊夫 (美瑛町立美瑛中・校長)	渡邊 万紀 (旭川市立愛宕中) 平野 雅弘 (東神楽町立東神楽中)	戸澤 美咲 (旭川市立緑が丘中)
5	鑑 賞	庄子 展弘 (旭川市立北星中) 中村 聖司 (旭川美術館・学芸課長)	名達 英詔 (教育大学旭川校・准教授)	桑村美由紀 (旭川市立緑が丘中) 伊藤 賢二 (旭川市立東陽中)	太田 美音 (富良野市立布部中)
6	特別支援	宮越けんじ (旭川市立永山南中) 池田はるか (旭川市立愛宕中)	菅原 敏光 (東神楽町立志比内小・校長)	大塚 寛之 (富良野市立扇山小)	品田 潤 (旭川市立神居東中)
7	高 校	手塚 昌広 (おといねっぶ美術工芸高) 工藤 亨 (旭川西高)	齋藤 幸雄 (旭川凌雲高・校長)	山口 幸彦 (旭川南高)	板谷 諭使 (旭川東栄高)

※この他、「あべ弘士 動物交響楽」展の鑑賞、レセプション (閉会式) があります。是非こちらもご参加を！

※本大会に参加希望の方は、別途配布される「大会参加申込書」にご記入され、FAXにて申し込みをお願いいたします。



情報発信から情報交流としてのネットワーク

～ つながる、ひろがる、HP・ML ～

北海道造形教育連盟

ネットワーク部長 小林 知 広

○情報を発信から情報交流へ

ネットワーク部では、ホームページ（HP）やメーリングリスト（ML）での情報発信を中心に活動してきました。その中で、各地区サークルでの活動の様子や北海道造形教育連盟が推進している研究の内容についての紹介を活動の中心に置き、情報発信を行ってきました。

今年の1月、「新研究主題をMLを使い多くの意見を集めながら、北海道全体で研究主題を創り上げたい。」という研究部長の思いを受け、MLでのディスカッションによる活用も試みてきました。

今までは情報を発信することを中心に考えてきたネットワークですが、次の段階である発信された情報が相互交流されていくことを実感しています。広い北海道、函館から根室までの距離を少しでも縮め互いの活動をより高めあえる、ネットワークをこれからも目指したいと思います。

ML登録者募集中です!!

各地区サークルの授業や事業の情報、研究主題についての意見交換などを一緒に情報交流しませんか? たくさんの方にご参加いただき、多くの方の声で交流したいと思います。現在の登録者は、73名です。

メーリングリストの登録を希望される方は、hokuzou.post@kagoya.net まで、メールにてご連絡ください。

携帯電話のメールでも結構です。

○HPコンテンツ紹介

HPのコンテンツ（掲載内容）は、みなさんの声のもとに、よりよいものへと情報を更新しています。そこで、今回は、現在インターネットに掲載しているHPのコンテンツを紹介します。

HPのコンテンツは、ここにある項目のことです



現在のアクセス数6515です
6月12日現在

< HPコンテンツ一覧 >

- 北海道造形教育連盟について
- 全道18サークル紹介
- 研究会・研究発表・研修会
- 北海道教育美術展
- 広報紹介
- 授業で使える情報BOX
- ほくぞう見て歩き情報
- 常任委員会各部から
- その他、共同事業など

<http://hokuzou.kir.jp/> から、ぜひご覧ください。



十勝造形サークル

幕別町立札内中学校 小泉 佳一

十勝造形サークルは会員20名で活動しています。ここ数年は会員数の減少は鈍くなってきていますが、積極的な活動がなかなかできないのが現状です。主な活動は、次の5つとなっています。
(昨年度の活動)

1. 十勝研修センター研修講座講師の協力
永山靖代先生（下音更小学校）の孔版画（コロジオン版画）と
中村毅先生（御影中学校）の陶芸（成形学習）の実技講座を行いました。
2. 「十勝子ども大会」の美術部門の運営
小学校・中学校の図工・美術作品総計1,401点を審査し、（前年度より約40点増）
289点の入選作品を選考しました。
3. 十勝管内教育研究サークル合同研究大会
11月に、上士幌小学校・上士幌中学校を会場に授業研と作品交流を行いました。
授業者は眞鍋幸恵先生（上士幌中学校）で、3年生の篆刻の授業を見せていただきました。
4. 全道造形教育研究大会の参加
5. その他、外部団体主催公募展審査員協力



十勝子ども大会 展示会場風景



サークル合同研究大会 授業風景

後志教育研究会図工美術部会活動報告

余市町立大川小学校 竹生 元

【実技講習会】



図工美術部会では、教師の資質・技能向上のために例年実技講習を行っています。昨年度は、「ガス灯（小樽市）」にて、スタンドグラス（トレイ）の制作体験を行いました。ハンダごての使い方、スタンドグラスの歴史、ガラスの発色の違いなど学ぶことができました。学校現場ですぐに使えるというものではありませんが、図工・美術を指導する際、必ず役立つことがあると感じました。



【研究授業】

「身近なものをスケッチする」—水彩スケッチ—

昨年度の研究授業は、佐藤初実先生の指導の下、余市町立東中学校3年B組で行われました。落ち葉をモチーフにして、水彩画に取り組みました。絵の具の混色、質感の表現など五感を使って素材を感じ取る課題に、美術が苦手な子どもたちも適切な支援を受けながら集中できる授業となりました。

【現状と課題】

本研究会は、後志教育研究会の余市町・古平町・積丹町の先生で構成され、全体で144名、図工・美術部会は現在7名で組織されています。年間5回の研究会と上記の活動の他、余市町内の児童生徒版画デザイン展を開催しております。

構成員の少なさによる活動停滞、他のブロックとの交流の難しさ（後志全体では27名おります。）、中学校での指導者不足による専門性維持の難しさなどが、本研究会の課題となっています。

しかし、「たのしくかけた」「じょうずにつくれた」「おもしろくできた」子どもたちの笑顔を支えるためにも、指導者の教材研究や指導力向上をめざして、微力ながら活動を継続しております。

第36回 北海道教育美術展

作品募集のお知らせ

正式な要項については後日発送の予定ですが、概要についていち早くお知らせしたいと思います。今年度も、全道からたくさんの作品をご応募いただきますようお願いいたします。

応募の対象

・ 保育園・幼稚園・小学校・中学校 に在籍する園児及び児童

応募の規定

- ・ 絵画、版画、デザインなどの作品とし、学校（園）を窓口として応募する。
- ・ 大きさは4つ切り。4つ切り以下の作品は、4つ切り大の台紙に貼ること。
（中学校については、8つ切り大の台紙も可）
- ・ 1人1点の出品とする。（前年度の作品はご遠慮ください）
- ・ 作品の裏に応募票を貼る。
（応募票は募集要綱に載っているものをコピーして使用する）
- ・ 応募総数を学年別出品一覧表にまとめて添付する。
- ・ 作品は学年ごとに重ねて一つにまとめ、表に「教育美術展作品」と記載する。



☆絵画・デザインなどで様々な材料を用いた表現が見られますが、展示・保管上、次の規定をお守りください。

- * 積み重ねてもつぶれない、かさばらない
- * 接着が強固ではがれたりとれたりしない
- * 画鋏で展示が可能な重量である

締切・送付先

- 平成21年12月15日(火)まで
期日厳守のこと
- 〒064-0810
札幌市中央区南10条西17丁目1-1
札幌市立幌西小学校

北海道教育美術展係 宛

- ◇主催 北海道造形教育連盟
北海道新聞社
- ◇後援 北海道教育委員会
- ◇協賛 さっぽろ東急百貨店

株式会社 サクラクバス

問い合わせ先

札幌市立中央小学校

八 田 博 之

TEL:011-261-6568 FAX:011-261-5723

◆審査会へのお誘い◆

12月27日(日)・28日(月)の両日、札幌市立幌西小学校を会場に「教育美術展審査会」が開催されます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからも多くの先生方が審査研修会に参加しております。全道から2万点近くの園児、児童、生徒の絵画・デザイン作品が集まり、作品を見ることを通して実践について研修し合う、またとない機会です。是非、審査研修会へも多数ご参加ください。

今年度の北海道教育美術展の会期・会場です。

会期：平成22年1月7日(木)～11日(月)

会場：道新ギャラリー

あ と が き

こうして連盟報128号を皆様のお手元にお届けすることができ、部員一同ホッとしています。旭川の川原先生・後志の竹生先生・十勝の小泉先生には、組織体制の確立や活動の円滑なスタートのための地区運営にお忙しい時期に、原稿作成のご協力をいただき心より感謝しております。

会員のニーズに応えられるような紙面の充実に向けて、ささやかな歩みではありますが努力しておりますので、どうぞ、皆様からのご意見をお聞かせください。もうすぐ上川・旭川大会。全道のお仲間と大会でお会いできるのを楽しみにしています。

<北海道造形教育連盟広報部>

松本和彦・伊藤聡美・大高雅子